

# 前橋監督署からののお知らせ

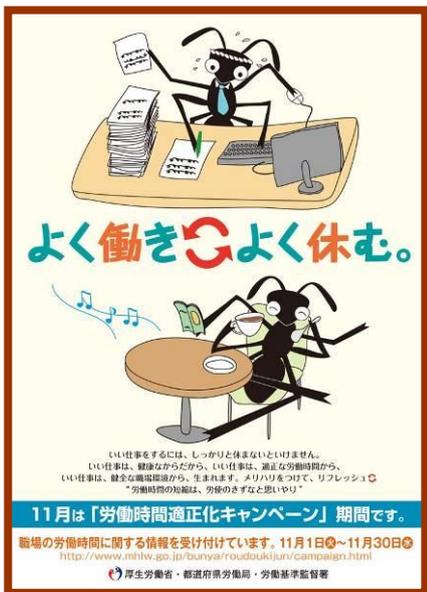
第7号

2011.11.15 発行



前橋労働基準監督署 前橋市大手町1-1-3 Tel 027-232-3600

## 11月は「労働時間適正化キャンペーン」期間です。



過重（長時間）労働は、疲労の蓄積をもたらします。

時間外・休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が高まります。

賃金不払残業（「サービス残業」）は、あってはならないものです。

これらの問題を解消するためには

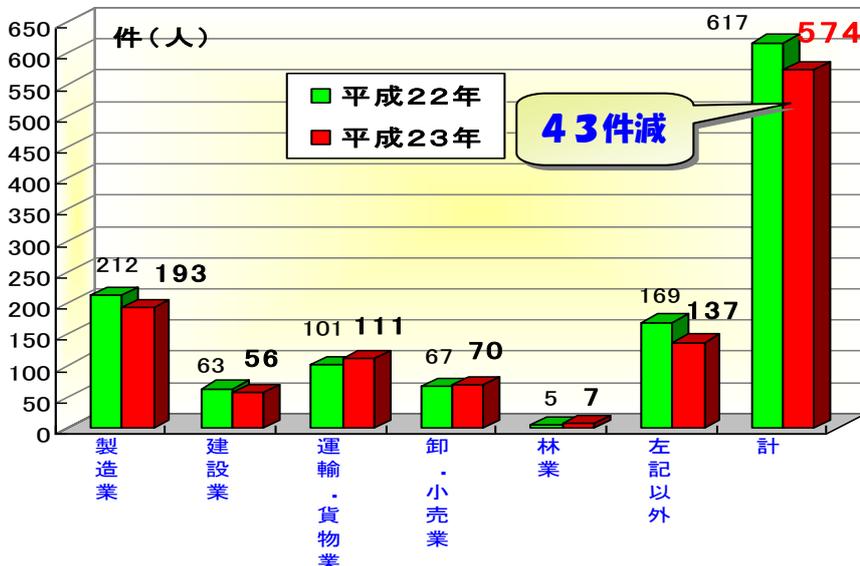
労働時間を適正に把握し、時間外労働に対する適切な対応が必要です。

健康障害を防止するためには

- ①時間外・休日労働時間の削減
- ②健康管理に係る措置（健康管理体制の整備等）の徹底が必要です。



## 平成23年（10月末現在）前橋署管内労働災害発生状況



注…休業4日以上（通勤災害分を除く）で、平成23年10月31日までに当署に提出された労働者死傷病報告を集計（累計）

- 県内全般では依然減少傾向にあり、特に当署では減少傾向が顕著。平成22年同期と比べ43件減の574件（人）に。
- 運輸・貨物業、卸・小売業、林業でやや増加。
- 死亡災害は4件（人）であり、マイナス3件に。
- 死亡災害4件の内訳は、製造業2件、畜産業・林業各1件。

# 特集 シリーズ動物災害（第2回）

## 犬がいるものだと思って行動する

 各家庭を訪問する人にとって最大の脅威は犬。

 今年は前橋署管内で、犬に噛まれる労働災害が12件発生しています。（23年10月末現在）

 そこで、住宅を訪問する職員が多数いる某企業の安全大会で事例発表された安全対策を紹介します。（苦勞がしのばれます。）



- ① 門などに「猛犬に注意」等の標識がないか注意する。
- ② 標識がなくても、「もしかしたらいるかも知れない」という気持で行動する。
- ③ 敷地・門の外から注意深く観察する。
- ④ いつもどおり、大きな声で挨拶する。
- ⑤ もしも犬が出てきても、慌てず落ち着いて行動する。
- ⑥ 大きな犬がいると分かっている場合は、パソコンにインプットする。
- ⑦ 初めて訪問する場合は、常に犬がいるものだと思って行動する。

# ヒヤリハットマップを活用したKYT(危険予知トレーニング)を開発

昨年、(社)群馬県トラック協会(前橋市野中町)では、東京海上日動火災保険(株)等と共同で、ヒヤリハットマップを活用したKYT(危険予知トレーニング)を開発し、現在、同協会のホームページ上で公開しており、「誰でも利用できるので、是非活用を」と呼び掛けています。

同マップでは、地図上で、「実際に事故に遭った車のドライブレコーダの映像を用いて危険を予知する力を高める訓練(KYT)」を実施できるのが特徴であり、他では見られない実践的なトレーニングが可能となっています。



↓ドライブレコーダの映像



NSKステアリングシステムズ(株)で585万時間無災害記録を達成!

街で見かけた好事例



平地でも車留め(輪留め)を実施しているトラック  
23年9月、前橋市役所付近で撮影

11月1日、前橋労働基準監督署において、前橋市総社町のNSKステアリングシステムズ(株)総社プラント(従業員約600人)に対し、厚生労働省労働基準局長無災害記録証・第二種が授与されました。

同プラントでは平成19年12月11日から平成23年8月31日まで、実に585万時間無災害という記録を達成したものであり、その栄誉を称えるものです。

同プラントでは、4Sを基本に取組んでおり、災害が発生し易い異常時には、「止める」「呼び止める」「待つ」を徹底しているとのこと。